

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

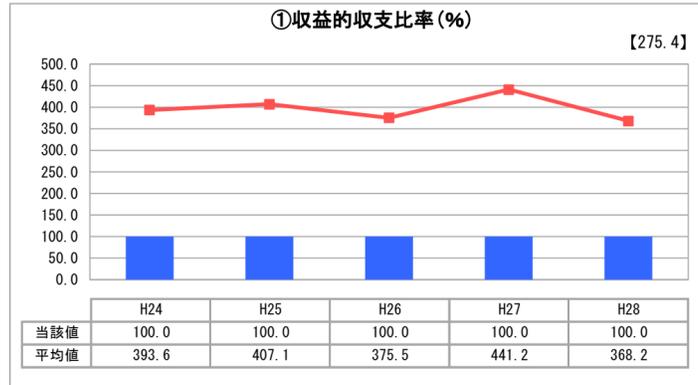
福井県鯖江市 北鯖江駅周辺駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	13	

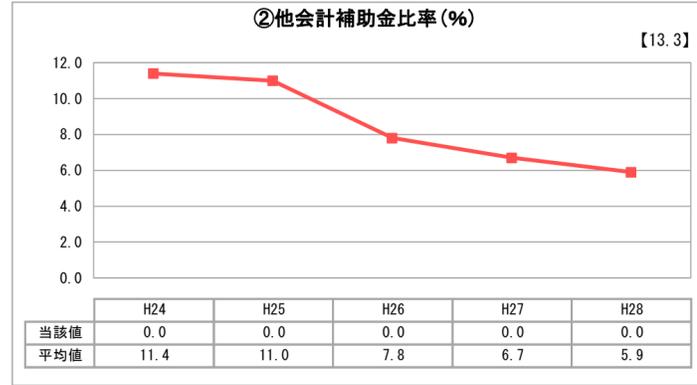
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	3,823
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
159	300	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[ ]	平成28年度全国平均

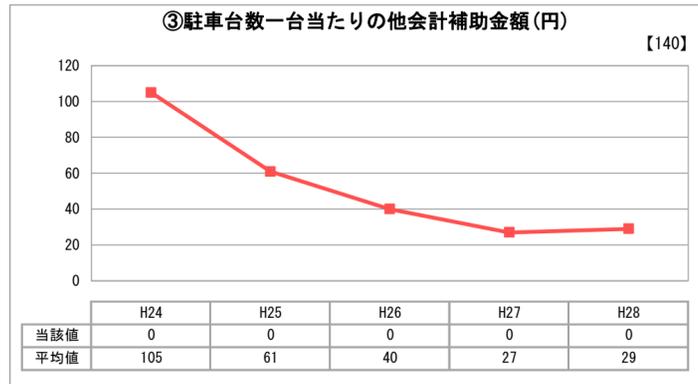
## 1. 収益等の状況



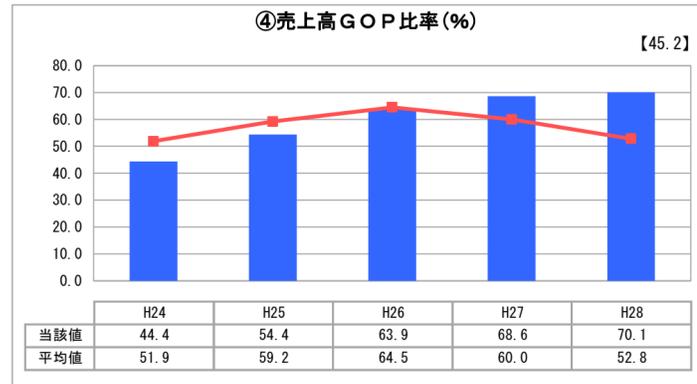
「経常損益」



「他会計補助金割合」

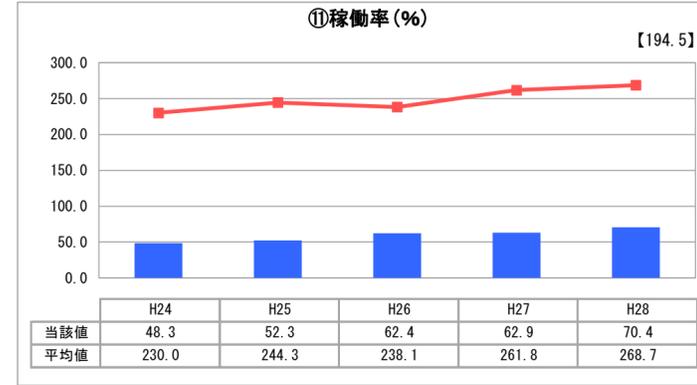


「他会計補助金額」

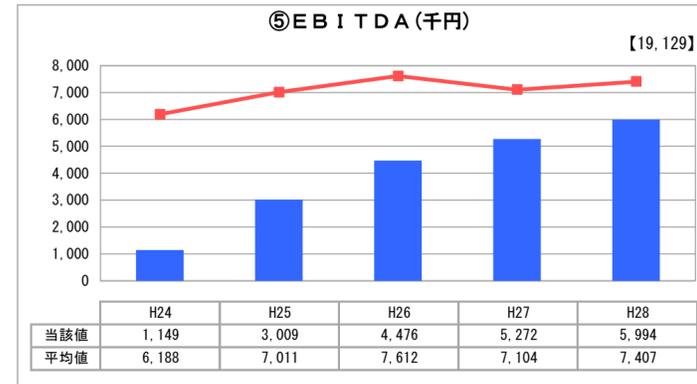


「売上高に対する営業総利益」

## 3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

## 2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

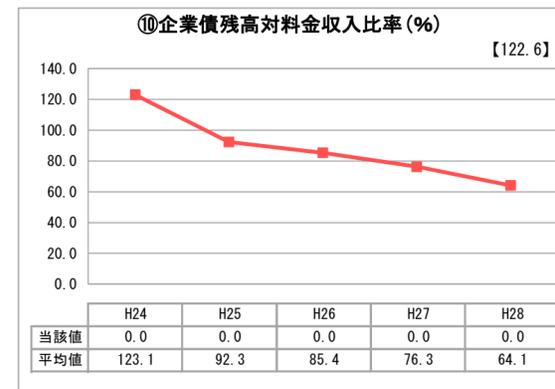
13

⑧設備投資見込額(千円)

12,000



「累積欠損」



「債務残高」

## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 収入については一般会計上に繰り出しをしており、経営的収支比率は100%となっている。他会計からの補助金、繰入は行っていない。売上高GOP比率、EBITDAについては、近年増加傾向にある。理由として、①駐車場利用者が増えたこと②管理費がさがっていることが挙げられる。

2. 資産等の状況について  
 企業債の借入れはない。現在の設備は平成13年に導入したが、機器の故障が多くなり、修理部品の納入も難しくなっているため、適正な機器の更新の検討をする必要がある。また一部車止めは、平成29年度に改修を予定している。今後、建設から年数が経つにつれて、フェンス、舗装、テント等についても老朽化は進むことから、状態を見て対応する必要がある。

3. 利用の状況について  
 稼働率が低い要因として、駅通勤者が多いため、1回の利用時間が長いことが挙げられる。また、稼働率の数値は推測の値になるため、今後の機器更新で把握できるよう視野に入れる。利用実態として、駐車場定期券利用者と一般利用者が共通の場所を使用しており、すべてが満車になることはほとんどない。

全体総括  
 駐車場の収益は増加傾向にある。現状の利用率が上がると、定期券利用者が利用できなくなるため、定期券の利用台数を維持し、支出減の経営努力を重ねる。施設の更新が近づいているため、継ぎ目のない運営ができるよう継続したい。